

## 平成26年度 外国語活動の授業改善のための方針

### 1、本年度の方策

#### ① 授業で生かす

#### ② 全校で生かす

◎外国語活動にふれ、慣れ、親しむことによって積極的にかかわり合い言語を用いて積極的に伝え合う児童を育てるために

- ・Hi Friend に基づいた年間指導計画に基づいた授業の充実
- ・興味・関心を高めるための授業形態の工夫（歌・チャンツ・ゲーム・Activity など）
- ・地域協力者・ALTとの連携による授業展開
- ・教材・教具の工夫（VTR・CD・絵カードPC など）
- ・社会科・総合的な学習の時間・国語など他教科と関連させた授業展開

- ・外国語活動の楽しさを低学年から経験させる。
- ・授業だけでなく日常的に外国語にふれさせ、日本語との違いを知ることで、言葉の面白さや豊かさに気づかせる。
- ・5・6年生は年間35時間の授業時間の充実
- ・教材・教具の開発・作成と共有
- ・社会科・生活・総合的な学習の時間など他教科・特活との関連
- ・保護者・地域の協力

### 2. 児童の実態

① 1年生から英語に親しむ活動を行っているので英語に興味関心を持っている児童が多い。

② 極的に体験活動を行うが自信のなさから進んで活動できない児童もいる。

### 3. 平成25年度の成果と課題（成果☆ 課題●）

☆継続的、系統的に低学年から英語に親しむ活動を続けてきたことで、外国語活動に意欲的に取り組む児童が増えた。

☆地域協力者、ALT とともに楽しい授業を計画、実践したため、外国語活動は楽しいと興味・関心を持っている児童が多い。

●35時間完全実施となったので教師自身がT1として授業が出来るように、授業展開や、教材・教具の工夫などの研鑽を積む。

●高学年児童にとって、楽しくかかわり合い知的欲求をも満足させられるような授業が出来るように校内で取り組んでいく。

学年	問題点	重点目標
3年	・積極的に英語を使うのが苦手である。	英語に親しむ活動を通して楽しんで英語を聞いたり、話したりしようとする児童を育てる。
4年	・アクティビティの際、英語よりゲームに夢中になる。	英語に親しむ活動を通して自分の聞きたいことや伝えたいことを英語でコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。
5年	・基本的なコミュニケーションはとれるが、発音を気にして、声が小さい場合がある。	外国語活動を通して積極的に英語でコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。
6年	・学習活動やふりかえりが、学習内容に直結しないことがある。	学習のはじめに、ねらいを明確にする。